

会 議 録

会議の名称		令和7年度第1回荃崎学園コミュニティ・スクール協議会			
開催日時		令和7年5月27日（火）開会 9:00 閉会 11:00			
開催場所		つくば市立荃崎中学校 図書室			
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課			
出席者	委員	近藤 宏子、倉本 茂樹、間中 和美、小島 弘子 小松崎 優樹、串田 佳子、望月 千鶴、飯塚 康弘 横山 暢彦、金井 恵美、井澤 文子、中嶋 修 荃崎中学校：校長 高野 満美子、教頭 鈴木 英理 教務主任 佐野 賢一 副教務主任 中野 満 荃崎第二小学校：校長 渡部 史恵、教頭 小倉 仁子 教務主任 中島 圭子 荃崎第三小学校：校長 木村 和江、教頭 堤 誠吾 教務主任 大藺 節子			
	事務局	生涯学習推進課参事：山口 健次 社会教育主事：村上 和宏 社会教育指導員：岩村 一代 社会教育指導員：島村 久美			
公開・非公開の別		☐ 公開 ☐ 非公開 ☒ 一部公開		傍聴者数	1 人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第5条第1項（個人情報）に該当する情報が含まれるため。			
会議録署名人			確定年月日	年 月 日	
会議次第	1 開会				
	2 任命書交付				
会議次第	3 自己紹介				
	4 説明事項				
	5 会長・副会長の選出				

6	協議
(1)	学校運営の基本方針について
(2)	地域と学校の連携事業予算計画について
(3)	熟議 テーマ 「地域に生きる児童生徒を育てるための教育活動の在り方」 ～令和7年度の活動について～
(4)	その他 ・コミュニティ・スクール協議会 家庭教育部会について ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について
7	閉会
※閉会后、家庭教育部会を開催	

<審議内容>	
1	開会 ・令和7年度第1回 荃崎学園コミュニティ・スクール協議会の開会宣言と書記の選出。荃崎中学校の佐野委員への依頼→承認
2	任命書交付 ・机上に配付してあることについて確認
3	自己紹介 ・席順で所属と名前の紹介
4	説明事項 ・つくば市コミュニティ・スクールについての説明 「市の教育が目指すもの、コミュニティ・スクールとは、市で進めるコミュニティ・スクールとは」 地域学校協働活動の例としてハンドブック、未来塾などの紹介を含む。
5	会長・副会長の選出 ・会長中嶋委員、副会長飯塚委員への依頼→承認 会長、副会長からの挨拶
6	協議
(1)	学校運営の基本方針について ①荃崎学園グランドデザインの説明 ②荃崎中学校グランドデザインの説明 ③荃崎第二小学校グランドデザインの説明 ④荃崎第三小学校グランドデザインの説明→質疑応答（なし）→承認
(2)	地域と学校の連携事業予算計画について ①荃崎中学校予算説明 ②荃崎第二小学校予算説明 ③荃崎第三小学校予算説明→質疑応答 会長：今年度から予算がついたので、経緯について市から説明があっても

いいのではないか。

間中委員：報償費のボランティア謝礼があるが、各校で統一する必要があるのではないか。

鈴木委員：学校ごとで設定をするとあるので、三校で統一をする方向で考えたい。では、この予算で進めていくということで考えたい。

授業参観

- ・校舎配置図と、授業公開クラスについての確認後、授業参観へ。

(3) 熟議 テーマ

「地域に生きる児童生徒を育てるための教育活動の在り方」

～令和7年度の活動について～

- ・ 荃崎中：環境整備と防災活動の2本立てで考えていきたい。
給食を提供することで、ボランティアの活動につなげたい。
防災に関する活動については、7年・8年・9年の縦の流れを意識した各学年の活動を計画していく方向
地域への周知の仕方としては、保護者はスクリレで周知する。
地域の方については、回覧板を利用したチラシの配布を予定
- ・ 荃崎二小：防災ウォークラリー実施のためのボランティア募集をかける。
保護者、地域の方への依頼。昨年度の反省を生かして、日程を組んで地域に周知をして、計画をしていく予定。地域への周知の仕方としては、保護者はスクリレで行う。地域の方については、回覧版を利用したチラシの配布を予定
- ・ 荃崎三小：防災マップの作製。地域の方と子供が参加する除草作業を計画。
土嚢が置かれている場所や防災カメラがある場所の確認。地域の防災行事への保護者との参加を啓発。昨年度実施した昔遊びを保護者や地域の方と行う行事については今年度も実施していく予定

中嶋会長：

- ・ 学校ごとに話合った記録を残しておかないと前回行った話合いの内容が薄まってしまう。学校ごとに記録をとっておき、話合いがさらに充実するようにしていく必要がある。
- ・ 第1回と第2回間に、学校ごとに集まって相談をして進める必要があるのではないかと。3校が集まるのではなく、学校ごとに校長裁量により声掛けをし、今年度は話合いを進め、必要に応じて参集をかけて進めていきたいかどうか。

→承認

(4) その他

会長より：

- ・ コミュニティ・スクール協議会 家庭教育部会について
会長より部員の承認と部長の選出→承認

金井部会長よりあいさつと今年度の活動の方向性について説明 C S の委員より、何かアイディアや御意見があれば、いただきたい。 →特になし。本日、C S 協議会閉会后、話し合いを進めていただく。 ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について 令和7年は3回会を開く予定。各会の日付と場所についての案内 7 閉会 HP への写真の掲載の案内

会 議 録

会議の名称	令和7年度第1回荃崎学園コミュニティ・スクール協議会 家庭教育部会			
開催日時	令和7年(2025年)5月27日(火) 開会 11:20 閉会 12:10			
開催場所	つくば市立荃崎中学校 図書室			
事務局(担当課)	教育局生涯学習推進課			
出席者	部会員	金井 恵美(部会長)、飯塚 康弘、横山 暢彦、井澤 文子		
	その他	堤 誠吾 荃崎三小教頭(小澤委員欠席のため)		
	事務局	教育局生涯学習推進課 参事: 山口 健次 教育局生涯学習推進課 社会教育主事: 村上 和宏 教育局生涯学習推進課 社会教育指導員: 岩村 一代 教育局生涯学習推進課 社会教育指導員: 島村 久美		
公開・非公開の別		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		家庭教育学級の方角性について		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 部会長挨拶 3 協議「家庭教育学級の方角性について」 4 その他「今後の流れ」 5 閉会			

<協議内容> ○ 4月実施の保護者アンケートから実施日(平日、土日)や学びの柱について検討する。
--

- 案１として、荃崎学園と高崎学園で共催して講演会を開催する。「子どもへの関わり方」をテーマとした講演を楽しい雰囲気て学ぶ。
→高崎学園との共催の有無については、部会長間で連絡をとる。
- 案２として、荃崎学園のみで講演会を開催する。講師について複数案があった。
- 実施時期は12月から3月で講師依頼する。
- 今後、社会教育指導員と連絡を取り合いながら講座内容を決定していく。

令和7年度第1回荃崎学園コミュニティ・スクール 協議会

日時：令和7年5月27日（火）

9：00～

場所：荃崎中学校 図書室

次 第

1 開 会

2 任命書交付

3 自己紹介

4 説明事項

つくば市のコミュニティ・スクールについて

5 会長・副会長の選出

6 協 議

(1) 学校運営の基本方針について

(2) 地域と学校の連携事業予算計画について

(3) 熟議 テーマ

「地域に生きる児童生徒を育てるための教育活動の在り方」

～令和7年度の活動について～

(4) その他

・コミュニティ・スクール協議会 家庭教育部会について

・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について

7 閉 会

※ 閉会后、家庭教育部会を行います。

(家庭教育部員の方はご参加ください。)

令和7年度 茎崎学園コミュニティ・スクール協議会
(第1回:5月27日 火曜日) 受付名簿

番号	委嘱の区分	氏 名	所属・役職
1	(1) 地域住民	近藤 宏子	茎崎おはなし会
2	(1) 地域住民	倉本 茂樹	元学校評議員
3	(1) 地域住民	間中 和美	元学校評議員
4	(1) 地域住民	小島 弘子	元学校評議員
5	(2) 児童・生徒の保護者	小松崎 優樹	PTA副会長
6	(2) 児童・生徒の保護者	串田 佳子	PTA会長
7	(2) 児童・生徒の保護者	望月 千鶴	PTA会長
8	(2) 児童・生徒の保護者	早瀬 望美	PTA副会長
9	(2) 児童・生徒の保護者	星 雄太	PTA会長
10	(3) 地域学校協働活動推進員	飯塚 康弘	元茎崎第二小PTA会長
11	(3) 地域学校協働活動推進員	横山 暢彦	PTA会長
12	(3) 地域学校協働活動推進員	小澤 広	元茎崎第三小PTA会長
13	(3) 地域学校協働活動推進員	金井 恵美	青少年相談員学校生活相談員
14	(3) 地域学校協働活動推進員	井澤 文子	元茎崎中PTA本部役員元乳幼児家庭教育学級ボランティア
15	(4) 学識経験者	中嶋 修	元茎崎中学校長
16	(5) 各学校長	渡部 史恵	
17	(5) 各学校長	木村 和江	
18	(5) 各学校長	高野 満美子	
19	(6) 教職員	小倉 仁子	教頭
20	(6) 教職員	中島 圭子	教務主任
21	(6) 教職員	堤 誠吾	教頭
22	(6) 教職員	大藺 節子	教務主任
23	(6) 教職員	鈴木 英理	教頭
24	(6) 教職員	佐野 賢一	教務主任
25	(6) 教職員	中野 満	副教務主任
26			
27			
28			
29			
30			



本県の教育目標

- ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる

【学校教育目標】

主体的に学び
人とのかかわりを大切にする
心身ともにたくましい 生徒の育成

本市の教育大綱

- 「教え」から『学び』へ
- 「管理」から『自己決定』へ
- 「認知能力偏重」から
『非認知能力の再認識』へ

【めざす生徒像】

- 自ら考え、高め合う生徒
- 責任をもって行動できる生徒
- 優しさや思いやりのある生徒

【めざす学校像】

- 楽しく、感動のある学校
- 安全、安心に生活できる学校
- 保護者、地域住民から信頼される学校

【めざす教師像】

- 学び続ける教師
- 効果的な学びをデザインできる教師
- 子どもに寄り添い心豊かな教師

<校訓>

- ・ 自 主
- ・ 責 任
- ・ 友 愛

組織目標 ○生徒の成長が実感できる授業力・学級力の向上
○互いを尊重し合える豊かな心を育む教育活動の展開
○生徒目線を意識した働き方改革による業務内容の改善

主体的な学びを展開する生徒の育成	主体的に行動できる生徒の育成	豊かな心の育成	健康・安全・体力の育成	魅力ある開かれた学校
○探究的な学びの推進 ・問いが生まれる授業の導入 ・考えさせられる授業から考える授業の改善 ○基礎・基本の確実な定着 ・校内授業研究による授業力の向上 ○ICTの活用 ・個別最適な学びの推進 ○読解力や論理的思考力を高める指導の展開	○自治的能力や社会力の育成 ・特別活動の活性化 ・9年間で意識した規範意識の醸成（ルールメイキング） ・自己判断力を育てる防災教育 ・系統性を生かした9年間のキャリア形成	○道德教育の充実 ・「考え、議論する」道德授業の展開 ○いじめ防止の徹底 ・定期的な生活アンケートの実施 ・教育相談の充実 ○人権教育の充実 ・命を大切にする教育 ・人権意識を育てる環境整備 ○特別支援教育の充実 ○校内フリースクールの充実	○健康教育の充実 ・部活動改革の推進と体力向上 ・AED、薬物乱用防止教室の実施 ○食に関する指導の充実 ・栄養教諭を活用した食育の推進 ○危機管理体制の確立 ・危機管理マニュアルの見直し ・コンプライアンス研修の充実	○開かれた学校づくりと家庭・地域との連携 ・コミュニティ・スクールの実施 ・地域の教育資源の積極的な発掘と活用 ○小中一貫教育の充実 ・荊崎中学校校区における学びの連続性、一貫性を意識した連携

令和7年度 荃崎学園つくば市立荃崎第二小学校の教育

県の教育目標

- ・ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- ・じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- ・郷土を愛し協力しあう心を育てる

学校の教育目標

夢と希望の実現に向けて、心豊かにたくましく生きる児童の育成

つくば市の教育目標

みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園
～自己実現できる学校・みんなで支え合い・みんなが生き生きとした学校～

荃崎学園の教育目標

- ・自ら学び 豊かな人間性とたくましさ
を備え 未来を拓く児童・生徒の育成

校 訓

かしこく なかよく たくましく

目 指 す 学 校 像

- 学びとふれあいのある楽しい学校
- 児童の可能性を伸ばせる学校
- 安全・安心で地域に根ざした学校

目 指 す 児 童 像

- ㊦ よく考え、進んで学ぶ児童
- ㊦ 思いやりをもち、協力できる児童
- ㊦ 安全に心がけ、体をきたえる児童

目 指 す 教 師 像

- 人間性豊かで、信頼される教師
- 明るく児童への愛情のある教師
- 指導力があり積極性のある教師

学校経営の理念 『一人一人を大切にする 笑顔あふれる学校づくり』

組織目標

学ぶ楽しさを味わわせる授業づくりを通して、自ら学ぶ子を育てる。
よさを認め合う集団づくりを通して、自他を大切にする子を育てる。

《確かな学力の育成》

- 主体的・対話的で探究的な学びのある授業づくり
 - ・思考力、表現力を高める学習活動の工夫
 - ・学習端末の効果的な活用
 - ☆学ぶことが楽しいと答える児童 **90%**
- 自主的な家庭学習の習慣化
 - ・「家庭学習の手引き」の効果的な活用
 - ・学習端末活用した家庭学習の推進
 - ☆学習端末を活用した家庭学習ができる児童 **85%**(R6 80%)
 - ☆年間50冊以上読書した児童 **100%**
- 特別支援教育の充実
 - ・ユニバーサルデザインの授業実践
 - ・個別のニーズに応じた指導・支援
 - ☆学校の授業は分かりやすいと答える児童 **95%**(R6 90%)

《豊かな心の育成》

- よさを認め合える、よさを発揮できる人間関係づくり
 - ・学級経営の充実
 - ・児童会活動の活性化
 - ☆自分にはよいところがあると言える児童 **85%**
 - ☆みんなの役に立っていると言える児童 **75%**(R6 70%)
 - ☆夢や希望をもっている児童 **85%**
- 基本的生活習慣・規範意識の定着
 - ・あいさつの奨励、黙読清掃の推進
 - ・ルールメイキングの推進
 - ☆進んであいさつをしている児童 **90%**
- 道徳教育の充実と人権教育の推進
 - ・「考え議論する道徳」の推進
 - ・自分も他人も大切にする児童の育成
 - ☆思いやりをもって生活している児童 **95%**

《健やかな体の育成》

- 命の大切さを基盤とした健康な心と体づくり
 - ・体育的行事への積極的参加
 - ・健康的な体づくりの習慣の確立
 - ・養護教諭による保健指導
 - ☆体育的行事にめあてをもって取り組んでいる児童 **85%**(R6 80%)
 - ☆早寝・早起き・朝ご飯を守って生活している児童 **85%**(R6 80%)
- 児童の危機回避能力を高める保健安全指導の充実
 - ・学校生活における保健安全指導
 - ・登下校の交通指導
 - ・交通安全教室
 - ・避難訓練
 - ☆安全に気を付けて生活している児童 **95%**(R6 90%)

《家庭・地域との連携》

- 安全・安心、地域とともにある学校づくり
 - ・荃崎学園CS協議会
 - ・地域連携防災会議
 - ・学校支援ボランティアの有効活用
 - ・教育活動の情報発信（便り・HP）
 - ・緊急メール情報配信
 - ☆学校HP更新：週5回以上
- 保幼小中の連携・交流
 - ・相互授業参観
 - ・中学校生活体験学習
 - ・保幼小交流活動
 - ☆保幼小中交流活動 年5回以上

研究主題 主体的・対話的で深い学びを生み出す教科指導の在り方
～個別最適な学びの充実を図る教科指導を通して～

教職員の資質・能力の向上
・若手教員育成 ・コンプライアンス意識の醸成 ・働き方改革の推進

令和7年度 荃崎学園つくば市立荃崎第三小学校グランドデザイン

【茨城県教育目標】

- ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性を培う
- じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
- 郷土を愛し 協力しあう心を育てる



荃崎三小

【学校教育目標】

自ら考え、進んで行動し、心やさしく、たくましい児童の育成
～夢や希望を抱き、一人一人が**自己決定できる**学校づくり～



【つくば市の目標】

- みんなが幸せを実感できる
学園・学校・幼稚園

【校訓】

かしこく（知）
なかよく（徳）
たくましく（心と体）

【組織目標】

- 「**探究的な学び**」を育む授業づくり ～ふしぎを 仲間と 分かるまで～
- 一人一人が自己決定し、**自己肯定感を高める**集団づくり～チーム三小～

【荃崎学園の目標】

- 自ら学び
豊かな人間性とたくましさを備え
未来を拓く児童・生徒の育成

目指す学校像

- 子どもたちの笑顔があふれる学校
- 教職員が元気で、働きがいのある学校
- 家庭地域と協働し、相互に教育力を高め合う学校

目指す児童像

- 主体的に生き生きと学びに向かう児童
- 思いやりのある児童
- たくましい心と体で、元気に生活する児童

目指す教師像

- 自己の使命を深く自覚し、研修に励む教師
- 人間性豊かで、子どもの気持ちがわかる教師
- 心身共に健康で、実践力のある教師

知（「探究的な学び」を育む授業づくり推進）

- 主体的で対話的な深い学びを実現する授業改善
 - ・基礎・基本の確実な習得と学習規律の確立
 - ・校内研修の充実（**探究的な学びに基づく**授業の質的向上）
 - ・学びの系統性、連続性の重視（小中一貫教育）
 - ・読書50冊達成（100%）
 - ・**伴走者**としての資質向上（役割の具現化）
 - ・チーム（担任・副担任制）での教育力向上
 - ・地域の教育資源の有効活用
- 個別最適な学びと協働的な学びの推進
 - ・学び方の工夫（指導の個別化と学習の個性化）
 - ・1人1台端末の有効活用
 - ・課題解決に向けた協働的な学び合い
- 家庭学習との相互補完
 - ・ICTの効果的活用

徳（円滑な人間関係の醸成を図り、一人一人が自己決定し、認め合い高め合う集団づくりの推進）

- 規範意識の高揚
 - ・基本的生活習慣の確立（時を守り、場を清め、礼を正す）
 - ・**自己決定できるルールメイキングの推進**
- 心の教育の充実
 - ・考え、議論する道徳授業の推進
 - ・いじめ見逃しゼロを目指す相談体制の構築
 - ・発達段階に応じた人権教育の実施
 - ・**夢や希望、目標につながる機会の充実**
- 自己肯定感を育む教育の推進（認められる場の設定）
 - ・**互いに認め合える多様な場の設定**
 - ・保幼小中の連携による一貫教育の充実と異学年交流の活性化
 - ・家庭教育との連携、地域・外部人材との積極的な関わり

心・体（自己管理能力を高め、望ましい生活習慣の定着と体力づくりの促進）

- 体力・運動能力の向上（重点：投力、柔軟性）
- 健康、安全、防災意識の充実（CS[防災・地域愛]との連携）
 - ・**自分の命は自分で守り、他と助け合える協働体制の構築**
- 特別支援教育の充実
 - ・コーディネーターを核としたチーム支援の推進
 - ・配慮を要する児童への共通理解と合理的配慮
 - ・通常の学級における指導の充実
- 安全安心な教育環境の整備の推進
 - ・**生徒支援、いじめ対策としての教育相談体制の充実**
 - ・地域と連携した登下校の見守りの充実

家庭・地域との協働関係を大切にした 信頼される開かれた学校づくり

1 積極的な情報公開と運営面での継続的改善

- ・学校公開、HP、学園・学校・学年だよりの充実
- ・学校評価、教員評価でのPDCAサイクルの充実
- ・コミュニティー・スクールの**協働体制の充実**

2 地域教育資源の積極的活用

- ・地域コーディネーターの位置づけ
- ・地域交流室の積極的な運営と人材発掘
- ・地域の人的物的資源の活用

3 校内コンプライアンスの確立

- ・ボトムアップ型研修の充実
- ・研修会への外部人材の導入
- ・良好な人間関係、職員室経営の充実

4 働き方改革の推進

- ・校務の効率化（ICT活用、業務削減）
- ・教材、教具、ワークシートの共有
- ・地域人材・外部団体の効果的活用